

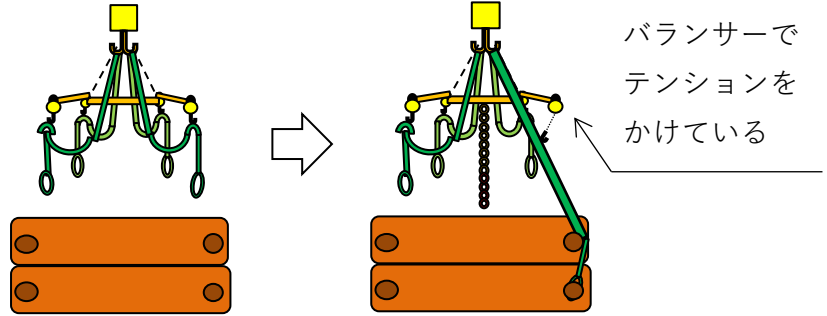
作品No.	4411
区分	現場危険を排除する改善

作品名	タコ足くん	所属	岐阜車体工業(株) 車体部プレス課
		説明者	上野 諒

## 〈改善前〉

### 【問題点】

- ①外し忘れ防止で取り付けしたバルンサーのテンションで、ワイヤーをかけるときに力をかけて引っ張らないといけない
- ②ワイヤー4本を引っ張って玉掛けする為、作業時間にバラツキが出る



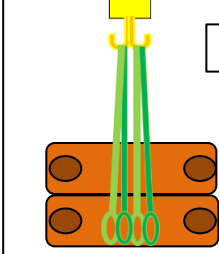
### ①気遣いなく、らくに作業したい

クレーンで金型を吊る玉掛け作業

ワイヤー4本を1本ずつ引っ張るのに力がある

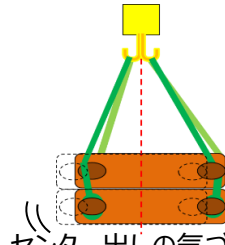
### ②作業時間のバラツキをなくしたい

【現状】

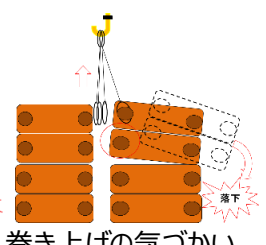
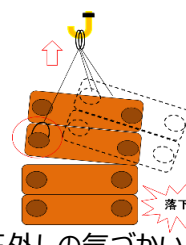
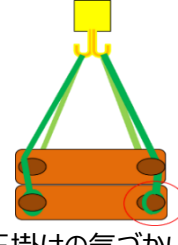


リスク

(図【地切り時の荷振れ】【外れによる落下】【外し忘れによる落下】【ひっかかりによる落下】)



センター出しの気づかい 玉掛けの気づかい



玉外しの気づかい 巻き上げの気づかい

## 〈改善後〉

機構

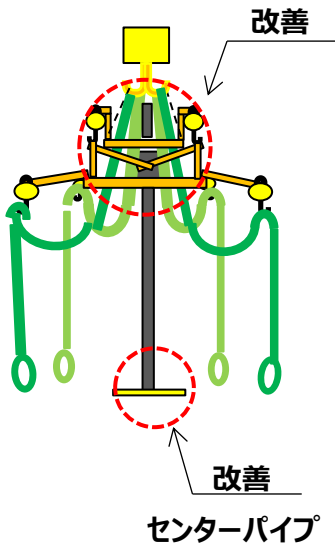
- てこ  リンク  斜面(重力)  滑車・輪軸
- カム  歯車  ゼネバストップ
- ベルト・ロープ・チェーン  その他

動力源

- 重力  人の力  磁力  弾性力
- ゼンマイ  浮力  自然のエネルギー
- 他動力  電気・エア  その他

タコ足くん (3号)

改善

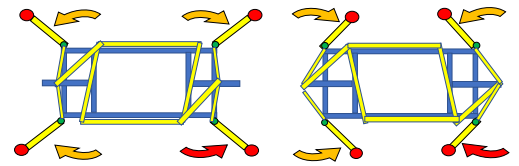


改善

センターパイプ

### 【改善①】 リンク機構

大小どの金型サイズでも対応できるアーム一カ所を金型フックに合わせると、リンク機構により全てのアームが連動してのこり3各箇所もそれぞれのフックの位置に動く

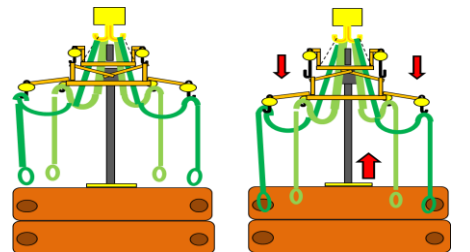


リンク機構により連動して動く

### 【改善②】 リンク機構

センターパイプが金型に当てることで、リンク機構が動き、ワイヤーが金型フック手元まで下がる。作業者の引っ張る作業の力が軽減でき、作業のバラツキもなくなる

⇒らくに作業ができる



リンク機構によりフック手元までワイヤーが下がる

効果

【災害リスク低減】

日当り段取り回数 24回  
24回×4型 = 日当り災害リスク **96回⇒0回**

【作業工数低減】

日当り作業工数  
1132分⇒845分 (▲287分)